

まちと人を結ぶ「情報の駅」としての区民文化センター

区内や近隣区、市民と文化活動の発着点となる施設を提案します。本施設を目的とする人も、まちへ向かう起点として立ち寄る人も気軽に訪れることのできる「情報の駅」となる施設を目指します。



様々な方向に開き、内部の活動が現れる外観。勾配屋根が重なりながらセットバックすることで圧迫感を軽減し、入りやすい雰囲気をつくる。



西側（金沢八景駅側）の外観。近隣マンションや戸建て住宅に配慮しつつ、視認性のある外観。



東側（市立大学側）の外観。通りに面してエントランスが見え、まちの結節点となる施設。



1階「まちのギャラリー」。内外がつながり、吹き抜けを介して様々な活動が一体化する。

1. 金沢の今と歴史を映すエントランスと外観

ア街に開かれたデザインとして気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの考え方

1-a. 周辺施設と連携し、人々を巻き込む活動のプラットフォーム

金沢区には豊かな歴史文化に加えて新旧の住宅地や教育施設、産業エリアなど様々な機能があります。さらに金沢八景駅に近接する本敷地の好アクセス性を活かして、他施設と連携しながら区民や移住者、大学生、観光客など多様な人々が接点を持つことのできる施設を目指します。

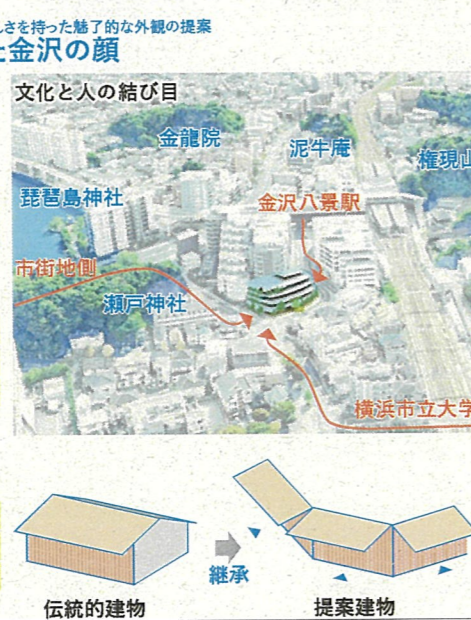
官民や産学を問わず周辺施設との連携を図るため、1階を「まちのギャラリー」として位置付けます。区内で行われている様々な活動や本施設の文化活動の情報が集まり、どこでなが行われているか、まちの情報を知ることができず。

「まちのギャラリー」に隣接する位置に、その展示の準備や議論の場に活用できる「プロジェクト室」を提案します。展示のプロセスを可視化することで、主体的な参加や興味を促し、さらなる文化活動が育つことを目指します。

1-b. 歴史を紡ぎ全方向に開かれた金沢の顔

金沢八景は平潟湾という豊かな内湾とそれを囲うように発達した地形で構成された景勝地です。この微高地が横浜から鎌倉や横須賀への道を結んだように、本施設が新たな起点となって自然と人のつながりをつくります。

駅側、市立大学側、市街地側の各アクセスを想定し、視認性の高い外観と3方から入れる広いエントランスを設け、全方向に開けた施設とします。

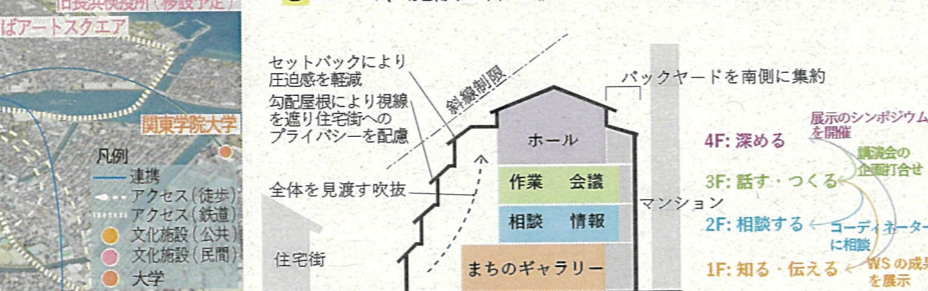


2. 文化活動と情報が循環する区民文化センター

ア街に開かれたデザインとして気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの考え方

2-a. 文化活動が循環しつつ分かりやすいフロア構成

各室およびバックヤードを南側に集約した明快なゾーニングとします。北側エントランスを吹抜け状の空間とすることで、施設全体の活動が一望でき、利用者への分かりやすさと一体感を生み出します。



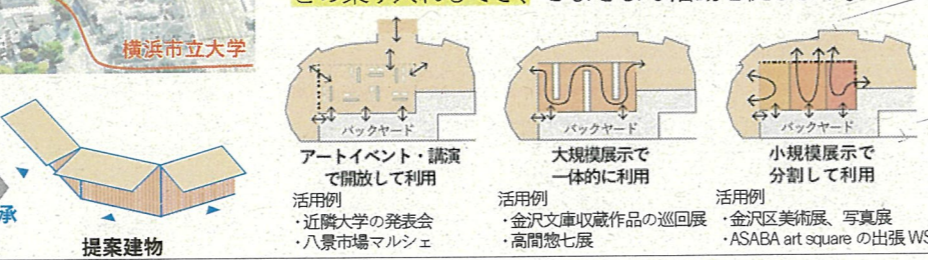
2-b. 管理しやすいコンパクトなバックヤード

バックヤードはマンション側に縦に計画することで開口部を制限しつつプライバシーに配慮します。また事務室は水害に配慮して2階に配置しつつ、1階への視認性を確保します。



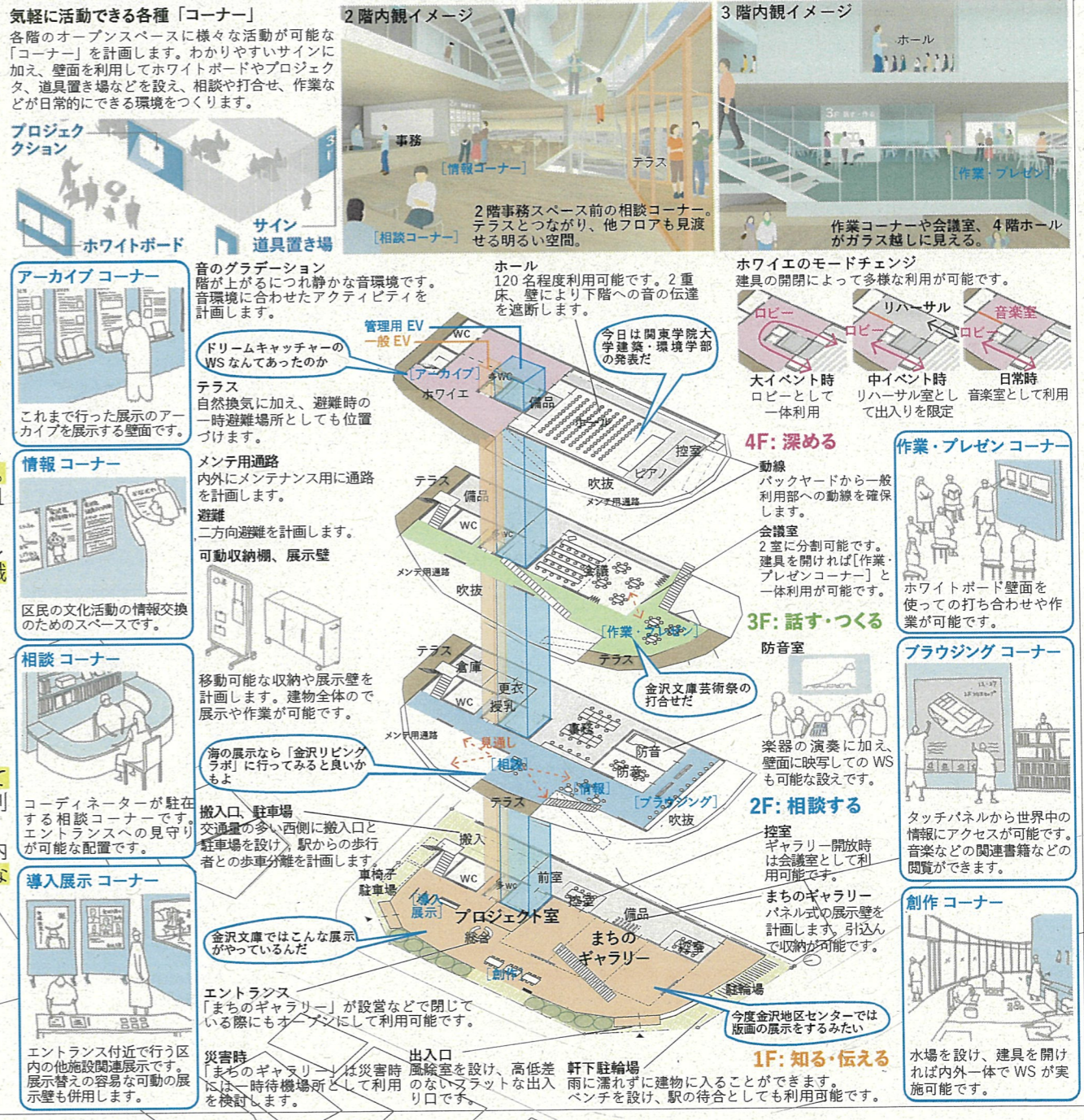
2-c. フレキシブルに利用可能な「まちのギャラリー」

「まちのギャラリー」は可動間仕切りの開閉によって講演やイベントなどの一体利用から展示会などの個別利用までフレキシブルに運用できます。



2-d. さまざまな活動が生まれ、連携可能な一体感のある建物

気軽に活動できる各種「コーナー」各階のオープンスペースに様々な活動が可能な「コーナー」を計画します。わかりやすいサインに加え、壁面を利用してホワイトボードやプロジェクトタ、道具置き場などを設け、相談や打合せ、作業などが日常的にできる環境をつくります。



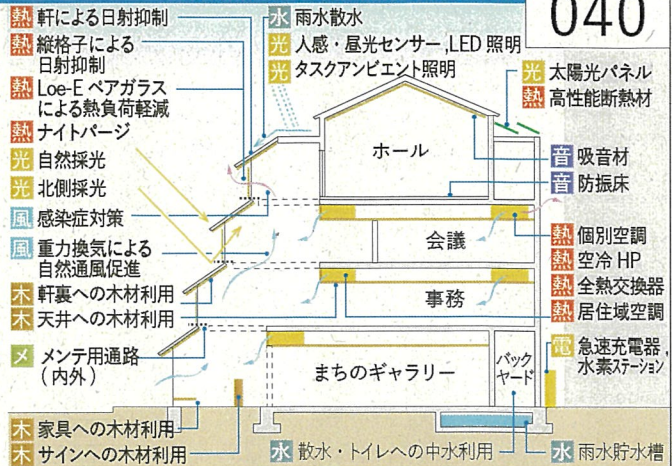
2) 施設利用者の利便性及び快適性の提案

3. 脱炭素社会実現に向けた ZEB と木材利用

- 3-a. 金沢の伝統を活かして ZEB-Ready を達成し、未来へ繋ぐ
- 軒の出や縦格子（西面中心）による日射抑制、Low-E ペアガラス、高性能断熱材 120mm 以上を採用し、外皮負荷を軽減します。
 - 自然採光や重力換気による自然通風を取り入れつつ、各階にテラスを設置することで感染症対策に配慮します。
 - 全熱交換器、人感センサー、昼光センサー、LED 照明、超効率空調機により一次消費エネルギーを 52% 以上削減します。
 - 太陽光パネルにより約 40Kw の創エネ（防眩仕様）とします。
 - 水素ステーション、急速充電器設置を検討します。
 - 建物の総合的評価認証 CASBEE-A ランクを達成します。

3-b. 適材適所かつ効果的な木材利用

- 耐久性やメンテナンス性、供給状況やコストバランスを踏まえて、木材を人目や手に触れる機会が多い部分に採用することで効果的な木質化を図ります。
- 県産材をはじめ、地域産材や国産材の利用も視野に木材利用 0.008% 以上を達成します。



「印象的」な部分に県産材を積極利用 国産材も視野に木材使用「量」を確保

・手すり・家具・サイン・軒裏・天井・間仕切り・建具・フローリング

4. イニシャル・ランニングのトータルコストを縮減する合理的な計画

4-a. 面積、構造、工程の合理化によるコスト縮減

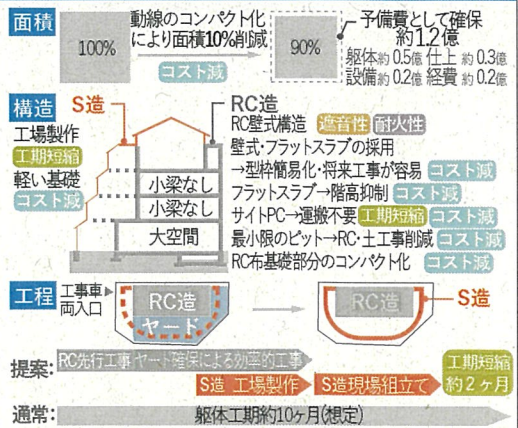
- 動線のコンパクト化により延床面積を約 10% 削減可能な計画です（計約 1800 m²）。
- RC 造と鉄骨造を併用することで合理的な構造、施工計画とします。
- 耐火性や遮音性に優れた RC を主構造、耐火被覆不要な外壁下地とホール小屋組に軽い鉄骨を採用し、仕上材や遮音材、被覆材のコストを縮減します。
- 1F ギャラリーなどの大スパン梁にはサイト PC を採用し、運搬コストと工期を縮減します。一般部は壁式構造とフラットスラブを採用し、型枠コストを削減します。
- ピットは最小とし、RC 造部分は布基礎、鉄骨造部分は独立基礎とすることで RC 工事と土工事を縮減します。RC 部は独立基礎も視野に調査、VE 検討を行います。
- RC 造エリアを先行する施工計画です。作業ヤードと車両動線を確保しつつ効率的かつ安全な施工を実現します。
- 物価上昇率 10% を見込んだ建設コスト管理とし、資材の調達状況をリアルタイムに把握し計画に反映します。

ライフサイクルコストの縮減に向けた具体的な方策

4-b. ランニングコスト縮減目標 25% と LCC 縮減目標 25%

- 高効率機器、節水衛生機器により水道光熱費を抑制します。また雨水集水を行い植栽への散水やトイレに利用します。
- 高強度コンクリートによる長寿命化およびフラットスラブにより将来の改修費を抑制。
- 設備更新が容易な配管ルートの集約やピット、メンテナンススペースを計画します。
- 清掃およびメンテナンス性に優れた納まりや仕上材とし、維持管理費を削減します。
- 塩害に配慮した仕上材や塩害対策フィルターを採用します。

(4) (1), (2), (3) を踏まえた、コスト縮減の考え方についての提案



5. 多くの声を取り入れ意思疎通を図る着実な設計プロセス

5-a. 地元出身 PM を中心とした万全の体制

- 金沢区出身で産官学民連携コーディネーター、地域プロデューサー、防災・減災コンサルなど経験豊富なプロジェクトマネージャー（PM）と共に業務を進めます。品質や進捗など多角的に確認する「PM チェック」を毎月実施し、トータルに品質を確保します。
- 今後の工事費高騰に対応するため、概算見積りを複数回実施します。実施設計段階の変更を最小限に抑えます。

積算数量の拾い忘れや違算を防止し、精度向上を図るための方法

- コスト管理士の資格を持つコストチェックマネージャーを専任配置。
- 積算チェックシートの活用や定期的なコストレビューを行い、多角的なチェック体制を構築します。

スケジュールの組立て方や管理方法、設計・工事監理体制などの業務の進め方

- 事業工程を見据えたマイルストーンを設定し、目標の明確化や進捗を可視化し、関係者全体の動きを把握します。
- 調査やヒアリングを集中的に行う「スタートダッシュ調査」を早期実施。
- 議題を明確にした定例会議を月 2 回を行い、手戻のない業務を推進。
- 設計から工事監理まで一貫して同じ管理技術者、各主任が業務遂行。

5-b. 地域の資源と活動をつなぐ出張ワークショップ

- 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制
- クラウド活用によって関係者が常に進捗を確認できる体制を構築。
- 明快な打合せ資料、模型作成、比較検討による確実な意思疎通。

関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制

- 区民の活動や声を取り入れるため、各地に出向く出張 WS を提案します。地域の相互理解や情報発信を行い、まちの機運を高めます。

(5) 業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

チーム体制

地元 PM

コンサル、公共建築発注支援、実空間・情報空間の融合、MLA 連携、地域プロデューサー、産官学民連携コーディネーターの実績豊富

運営・行政視点のアドバイス、先導事例紹介

WS 相談・リサーチ依頼

管理

豊富な公共建築実績（複合用途）、各者との協働経験、市内大学出身、WS 経験豊富

設備 構造 コスト 外構

ZEB、市内公共施設の実績、公共建築実績

同規模建築の実績、定期的なコストチェック、VE 作成、設備計画の合理化で相殺

スケジュール

	9	10	11	12	1	2	3	4-12	R7	R8	R9
基本設計	[進捗バー]										
設計・監理工程	平面計画	与条件まとめ	一般図まとめ	前倒し成果品	実施設計	工事					
定例	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告
PM チェック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
進捗チェック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コストチェック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ZEB チェック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
出張 WS	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪

出張 WS 内容:

- 候補地 金沢地区センター
- 候補地 並木ラボ
- 候補地 さくら茶屋
- 候補地 アサバート
- 候補地 よりみち
- 候補地 横濱市立大学
- 候補地 日長浜検査所

参加者: 近隣住民、子どもと親、高齢者、アート系、若い住民、大学生、区外の人